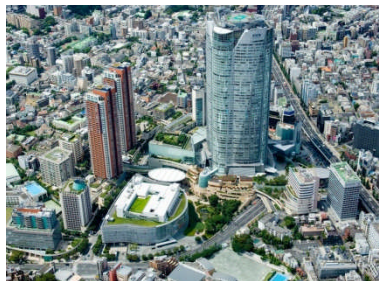


(参考) 森ビルの新たな都市ビジネス～ジャパンコンテンツの発展推進～

都市を育む：都市開発×文化という街づくり

森ビルでは、都市づくりのミッションの一つに「文化・芸術」を掲げ、職・住等とともに文化を備えた複合都市づくりとして、コンサートホールを備えたアークヒルズ（1986年）から始まり、六本木ヒルズ（2003年）では“文化都心”をテーマに美術館や社会人教育機関、ライブラリーといった様々な文化施設を設け、自ら運営するなど、東京の魅力向上に向け、街づくりを通じた文化・芸術事業に積極的に取り組んでおります。

都市×現代アート

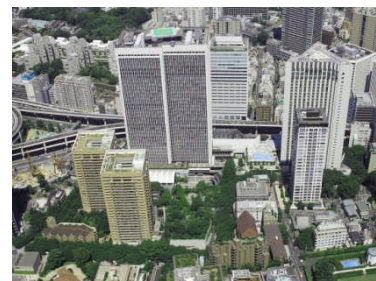


六本木ヒルズ（2003）

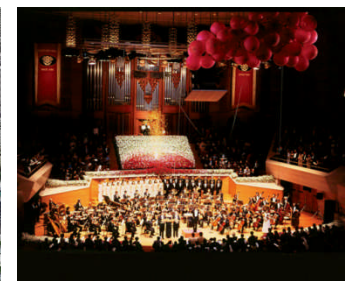


上海環球金融中心（2008）

都市×音楽



アークヒルズ（1986）



都市×ファッション



ラフォーレ原宿（1978）



ヴィーナスフォート（1999）



表参道ヒルズ（2006）

都市×教育



六本木 アカデミーヒルズ



平河町ライブラリー

都市×イベント



(参考) 森ビルの新たな都市ビジネス～ジャパンコンテンツの発展推進～

①独自のコンテンツ開発ノウハウ

当社では、都市・景観を俯瞰的かつ客観的に捉えるためのコミュニケーションツールとして独自に都市模型やVRを制作し、具体的な計画の検討や関係者への理解促進など、実際の都市づくり、景観づくりに活用しています。こうして独自のコンテンツ開発ノウハウを構築し、近年では外部から模型、VR制作に関する受託事業の実績も増えております。



縮尺1000分の1の巨大都市模型



開発プロジェクトのVR
(環状二号线プロジェクト)

②クリエイターとのネットワーク

これまでの都市に関連したコンテンツ制作等を通じて、さまざまなクリエイター、メディア芸術関係者等にネットワークを構築し、独自のコラボレーションにより、その取組みは都市やアニメーション等をテーマとする展覧会やイベントの企画、運営等に発展してまいりました。



「スチームボーイ・19世紀ロンドン展」(2004)
大友克洋監督のアニメーション映画「スチームボーイ」に描かれる19世紀ロンドンに着目し、この時代の産業、技術、都市、建築をキーワードに映画の世界観を表現する展覧会を企画。



「六本木ヒルズ朝まで文化祭」(2004)
押井守監督のアニメーション映画「イノセンス」一般公開に先立ち、プレミアム上映及びさまざまなクリエイターによるトークショーやDJによるライブミックスなどを実施。

③新たな都市ビジネスへの挑戦、国際競争力強化へ

こうしたコンテンツ開発、ネットワーク等を通じ、第一線のクリエイターとのコラボレーションによる映像作品の制作や、展覧会の主催だけでなく、さらに行政からの受託事業として、メディア芸術、ポップカルチャーなどの日本独自のコンテンツ分野の発展推進にまでその取組みは拡がりをみせています。森ビルではこうした都市を育む新たな都市ビジネスを通じて、東京・日本の国際競争力強化に向け、一層挑戦してまいります。

<受託事業>

- 文化庁「メディア芸術情報拠点・コンソーシアム構築事業」(2010、2011、2012)
- 文化庁「文化庁メディア芸術祭海外展の企画・運営」(2012)
- 経済産業省「クール・ジャパン戦略推進事業」(2012)



「東京スカヤナー」(2004)
上空からの“眼”によって捉えられた都市・東京の映像作品。
平成15年度文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品など各種受賞。
企画制作：森ビル、監修：押井守



UIA大会2011東京誘致プロモーション映像(2005)
UIA(国際建築家連合)大会を2011年に東京へ誘致するためのプロモーション映像を制作。
企画制作：森ビル